

宗谷アクティブバスの運行



宗谷バス株式会社

営業部 部長 石橋 徹

■はじめに ～宗谷バス株式会社の概要紹介

- 本社 北海道稚内市（創立日・1952年7月1日）
営業所：稚内、札幌、利尻、礼文、枝幸

- 各種バスの運行状況

路線バス	日本の最北・宗谷管内の市町村を中心に運行
都市間バス	稚内－札幌間の『特急わっかない号』 枝幸－札幌・旭川間の『特急えさし号』 鬼志別－旭川間の『特急天北号』を運行
定期観光バス	稚内市内・利尻島・礼文島にて運行（観光シーズンのみ）
その他	貸切バス、空港連絡バス、など



- 保有車両数

乗合：70両／貸切：54両（2022年8月現在）



宗谷バス

<http://www.soyabus.co.jp>

■ 稚内を含む宗谷管内の観光 ～日本のおてっぺんの魅力

- 利尻礼文サロベツ国立公園やラムサール条約湿地のクッチャロ湖等、ここにしかない貴重な動植物や美しい自然風景が見られる。
- カニやウニ・ホタテ等の新鮮な海産物を求め、道内外・海外からも多くの旅行者が訪れる。
- 北海道遺産にも認定された宗谷丘陵、ホタテの貝殻が敷き詰められた『白い道』は、宗谷岬と共に観光名所。
- 宗谷岬は“サイクリストの聖地”と言われ、国道40号や抜海線、利尻富士を眺めながらのオロロンラインなど、美しい道を走りながら日本のおてっぺんを目指すサイクリストが多い。

★宗谷管内の観光入込客数(延べ人数)は、2002年度で約299万人を記録。

★その後減少を続け、2019年度には、約208万人。

宗谷管内への誘客に向けた新たな滞在型観光コンテンツ開発が急務

背景 ～宗谷×サイクルツーリズム

2003年

“道をきっかけ”に美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力的な観光空間づくりを目指し、地域が主体となって取り組むシーニックバイウェイ北海道の指定ルートに、宗谷シーニックバイウェイとして登録。



沿道の美化活動(花植え)



映画ロケ地などを活用した誘客事業



沿道の清掃活動

沿道景観向上に向けた取り組み(除草・清掃活動)や、観光に関するワークショップ、ドライブ観光の推進(ツアーの実施)などを積極的に行ってきた。



ワークショップ

ドライブ観光推進だけでなく、宗谷管内での新しい観光コンテンツの開発(新たな旅の提供)を目指す動きへ

2015年

自転車やカヌー、トレッキングなどの人力による移動と公共交通を上手く組み合わせた周遊観光の取り組み「スイス・モビリティ」を参考に、「宗谷エコ・モビリティ」を展開。



【先進地視察】スイス/ツェルマット

バスや列車には自転車をそのまま載せることができ、レンタサイクルなどとの繋がりもよい。旅(移動)をしながら、アクティビティ体験が楽しめる仕組みなどを視察。



自転車
を軸とした広域連携による取り組み
きた北海道サイクルツーリズム
の動きへ

■取り組みの背景 ～宗谷×サイクルツーリズム

2020年

エリア全体で
サイクルツーリズムの機運が高まる！

交通事業者としても
サイクルツーリズムの推進
に寄与すべく取り組み
を模索。

サイクリストの受け入れ環境の整備（レンタサイクルの開始、オリジナルサイクルラックの設置、工具や空気入れの貸し出しなど）、サイクリングイベントの実施、プロモーション動画の作成などを、広域で実施。稚内市では『自転車活用推進計画』を策定。



レンタサイクル（宗谷岬のBASE SOYA）



広域サイクリングイベント
「TEPPEN-RIDE」の開催



★ゴール地点（宗谷岬）から稚内の市街地（ホテル）へ戻る時は、バスに自転車を積載して、ツアー参加者も乗車もらう仕組み。（こちらも好評）



地元木材を活用した地域協働によるサイクルラックの製作



自転車が積み込み可能な
サイクルバスの
運行をスタート
（利尻島から）

きた北海道サイクルツーリズムの動きへ
自転車を軸とした広域連携による取り組み

■ 取り組み紹介① 路線バス

利尻島の路線バスへ積載

- ・島を一周する路線バスの車内にそのまま積載する
サイクルバスをスタート(2017年試行/2018年本格運用)。
- ・車いす用の跳ね上げ椅子スペースに固定。
 - …積載台数が2台程度と少ないため、事前予約制。
それでもやはり、飛び込みの客も多いところ。
 - …積載はお客様にさせていただきことしているが、できない人も多く、
運転手さんがお手伝いする。

★利用者数は
2018年度 40名/台
2021年度 77名/台

3年間で2倍に増加！

【運行期間】

毎年 4月～10月(積雪前まで)

【利用料金】

自転車積載料金 500円/回 (乗車運賃は別途)

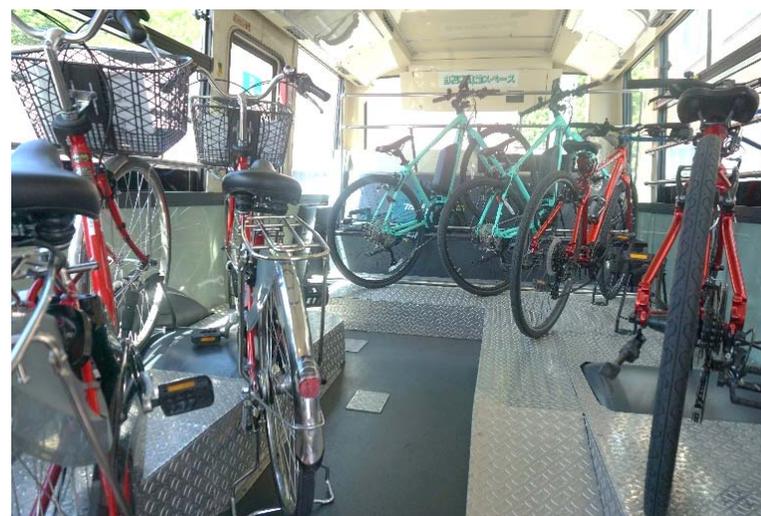
ワンデーフリーパス 2,500円/日 (乗車運賃+自転車積載運賃込み)



■ 取り組み紹介② 路線バス

複数台積載可能な 宗谷アクティブバスの導入

- 一般的な路線バス車両の後部座席スペースを改造し、10台のサイクルラックを設置。
- さらに！ 車内に電動空気入れを設置。簡易的な自転車整備ができるようにした。
- さらに！！ 車内にモニター画面を設置し、地域情報やサイクリングに関する動画を放映。
 - …ラックがあるため、利用者が比較的簡単に固定できるようになった。
 - …宗谷のサイクリング環境を知ることができ、利用に関する理解が深まり、利用者にとっての利便性向上へ繋がることに期待。



■ 取り組み紹介③ 路線バス

宗谷アクティブバスの運行

- ・稚内駅～宗谷岬・宗谷丘陵を繋ぐ定時定路線バスとして試験運行(2021年9月)。
- ・自転車だけでなく、今後、宗谷エリアの様々なアクティビティ体験にも対応できるように。
 - …バスを上手く利用しつつ、サイクリング+フットパスなどを手軽に楽しめる。
 - …路線バスのため、市民にも利用してもらい、地域内での新しい楽しみ方の発見に繋がることに期待。

【試行期間／運行状況】

9月18日(土)～26日(日)の9日間
往路復路合わせて4便／日

【利用料金】

自転車積載料金 無料 (乗車運賃は別途)



★利用者数は
乗車の方 32名
うち、自転車積載の方 23名
利用者からは、
初心者でも気軽に楽しめる
素晴らしい取り組み
と好評価



■ 取り組み紹介④ 観光バス

宗谷アクティブバスの モニターツアーの実施

- ・旅行会社と連携したモニターツアーの催行(2021年9月)。
- ・電動アシスト付き自転車とアクティブバスを組合せ、行く先々で地域の方々にガイド戴いた。
 - …バスとの組み合わせにより、体力に自信のない人も参加が可能。
 - …地域の人が見せたい美しい風景や場所だけを自転車でコンパクトに巡れるため、観光時間を多く設けることができる。
 - …雨天等の悪天時にも、臨機応変に対応できるメリット。



★関東圏から18名参加

自転車総距離 30~40km

添乗員も含め、利用者からは、
素晴らしい取り組み
と好評価

【モニターツアー実施】

10月5日(火)~6日(水)

10月17日(日)~18日(月) いずれも1泊2日間

■ 取り組み紹介④ 観光バス その他

● メディアでの紹介

北海道の人気番組「どさんこワイド」にて
ツアー内容の紹介を戴いた。

参考：ツアー実施後の参加者の声とスタッフでの意見交換（抜粋）

■ 良かった点

- ・バスが随所で後ろからついてきてくれるので、もしもの時も安心だった。
- ・自転車もよいが、バスの椅子からの高さから見える景色もよかった。
- ・電動アシストが快適で、どこまでも走れる感じがした。
- ・また来たい・走りたいと思った。
- ・地域の方の案内もよく、楽しめた。

■ 今後に向けて（課題等）

- ・サイクルバスにおけるツアー参加者の荷物掲載スペースの確保
- ・トイレ休憩箇所の設定
- ・サイクリングガイド（ローカルガイド）の発掘・育成
- ・自転車積み下ろしの補助（電動アシスト自転車が重たく参加者負荷が大きい、運転手が手伝うことになる、など）
- ・レンタサイクルと合わせた周知徹底

稚内、利尻島と礼文島で
旅行会社によるツアー造成

★2022年夏

22本！

バス×電動アシスト自転車を
組み合わせたツアー

※テレビ放映画像参照のため
発表用資料のみ掲載にしています

■今後の展開

- 稚内駅～宗谷岬までの路線バスで**宗谷アクティブバスを定時便**で運行
- 自転車を車内に積載できるバスをもう一台整備
(アクティブバス2台目！)



- ★宗谷アクティブバスの導入により、アフターコロナの観光への対応や、宗谷管内の新たな観光需要の喚起となることに期待。
- ★観光客による滞在時間の延長(宿泊・買い物等)などを含めた地域経済効果(観光消費の拡大)に期待。

ご清聴ありがとうございました



宗谷バス株式会社

営業部 部長 石橋 徹